第1号議案

次期「日本遺産を通じた地域活性化計画」(案)について

令和8年(2026年)1月23日

日本遺産「桑都物語」推進協議会

1 主旨

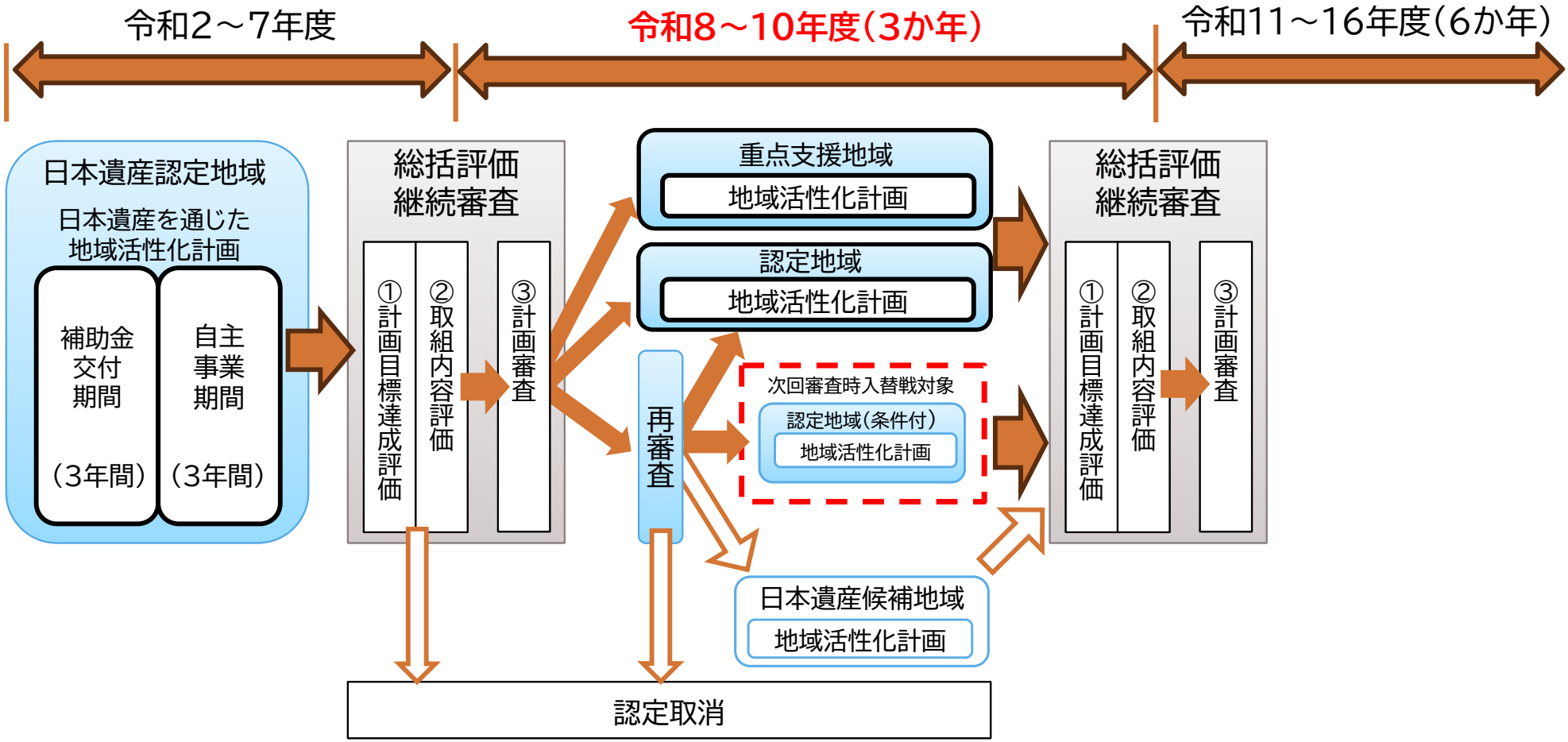
令和2年度の日本遺産認定以降、本協議会では「日本遺産を活用した地域活性化計画」に基づき、様々な取組を行ってきた。

認定から6年が経過し、令和8年2月から「日本遺産総括評価・継続審査」の手続きが始まることから、次期「日本遺産を通じた地域活性化計画（令和8年度～10年度）」の内容について決定する。

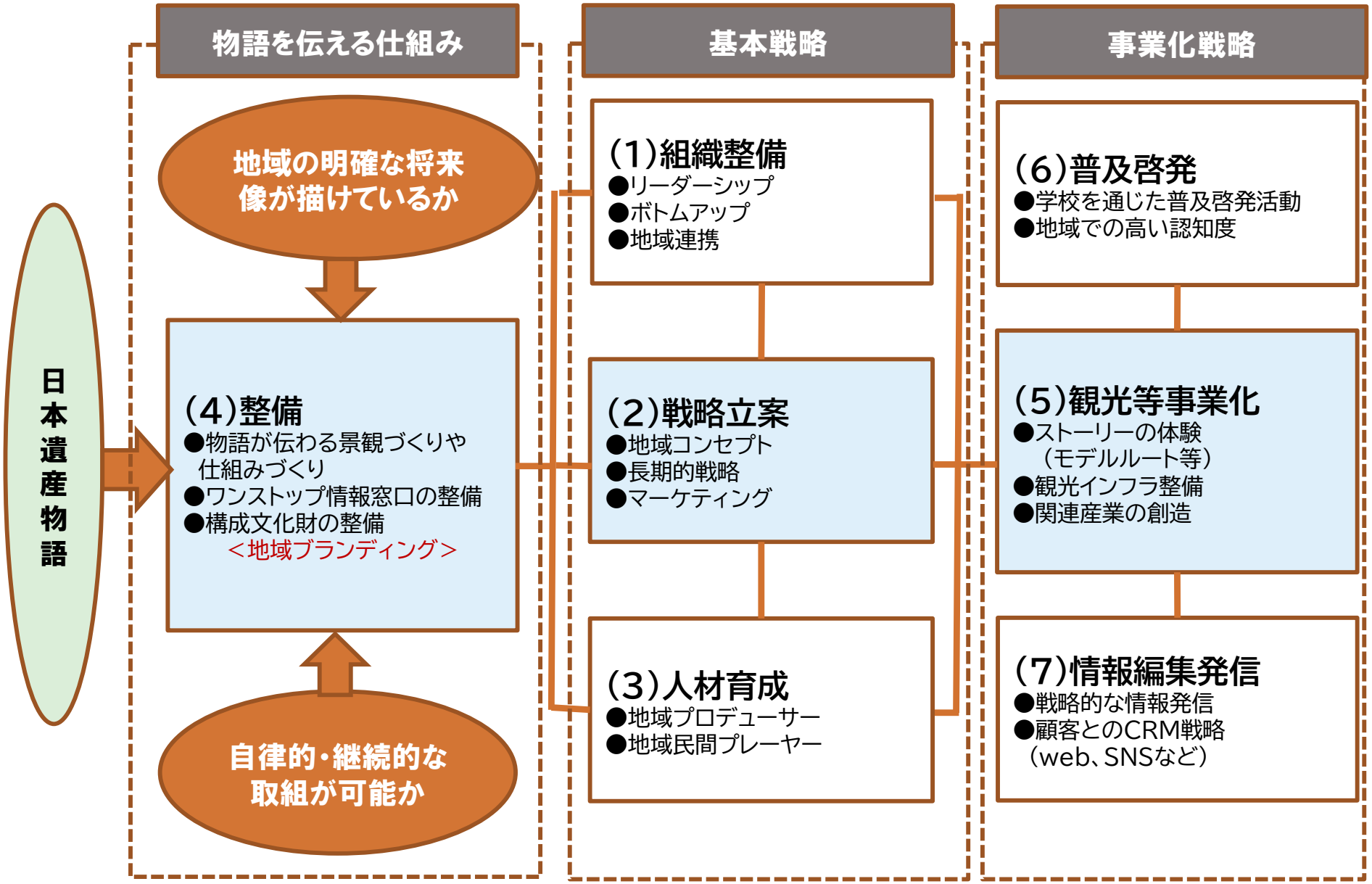
これまでの経過・取組など

2　日本遺産総括評価・継続審査について

- 日本遺産制度では、文化庁により認定された日本遺産ストーリーの継続可否を判断するため、定期的に成果や今後の取組について審査する「総括評価・継続審査」が行われる。
- 令和2年度に審査を受けた本市は、規程により令和8年度に審査の対象となる。そのため、これまでの6年間の実績報告及び今後3年間の取組に関する計画を提出する。



3　日本遺産事業の推進におけるフレームワーク



《参考》日本遺産物語をどう活かすか（令和7年2月18日 丁野 朗氏）講演資料より

4　これまでの取組

各項目	取組・成果
1.組織整備	• 文化、産業の両分野の団体で構成する日本遺産「桑都物語」推進協議会の設置 • 関連所管、構成団体の連携による「桑都物語」関連事業の実施体制
2.戦略立案	• 「八王子未来デザイン2040」における日本遺産活用の明確化・分野横断的推進 • 文化財保存活用地域計画に関連文化財群の一つとして日本遺産ストーリー位置づけ • 構成文化財所有者等との協働推進
3.人材育成	• 学校教育での郷土学習等を通じた、こども世代の日本遺産認知度の向上及び知識の定着 • 中高生向け外国語ガイドボランティア育成事業を通じた次世代人材育成 • 既存ガイド人材を対象にした「桑都物語」に関する知識習得
4.整備	• 日本遺産「桑都物語」PR拠点整備（桑都日本遺産センター八王子博物館　等） • 多言語対応の情報媒体の整備（構成文化財解説板、ウェブ開設　等）
5.観光事業化	• ストーリーを活用した地域ブランド製品造成及び他地域連携（繊維、山岳信仰） • MICE誘致によるツアー造成、継続依頼の獲得 • インバウンド対応の新たなツアー造成、プロモーション実施
6.普及啓発	• 日本遺産フェスティバルin桑都・八王子をはじめとするイベントを通じた普及啓発 • 民間事業者による商品開発の創出及び継続 • 協議会オリジナルブランド製品の開発、販売 • こども世代・若年層の関心喚起（学校教育との連携）
7.情報編集 発信	• 多様な媒体を使った情報発信（紙・ウェブ・アプリ） • ターゲット別プロモーション実施（周遊ガイド、サイクリングマップ）

5　現行地域活性化計画によるKPI指標の達成状況

設定目標	計画評価指標	具体的な指標	目標値 （R7終了時）	実績値 （R7数値）	達成率
日本遺産を活用した集客・活性化	観光客入込み数	観光客数	865.7万人	946.2万人 ※推計値	109.3% 達成
		日本遺産ストーリー関連施設の利用者数 ※注1	54.5万人	72.3万人 ※推計値	132.7% 達成
	外国人観光客数	高尾山を訪れる外国人観光客数 ※注2	11.8万人	13.1万人 ※推計値	111.0% 達成
日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	地域の文化に誇りを感じる住民の割合	八王子の魅力に積極的に友人・家族等に勧めたいと思う市民の割合	57.2ポイント	47.3ポイント ※2月公表予定	82.7%
	日本遺産の認知度	日本遺産認定の認知度 ※注3	94%	66.4% ※2月公表予定	70.6%
日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	日本遺産への協力団体数	日本遺産の魅力発信に連携・協力する大学等や企業、事業者	28団体	94団体 ※現時点	335.7% 達成
	歴史・文化を継承するまちづくりを応援するためのふるさと納税額	寄附金額	2,309万円	1,850万円 ※推計値	80.1%

注1：高尾599ミュージアム、桑都日本遺産センター八王子博物館・郷土資料館、八王子城跡ガイダンス施設、絹の道資料館の利用者数
注2：高尾599ミュージアム・高尾観光案内所（むささびハウス）の外国人利用者数から推計
注3：市政世論調査より引用

6-1　現行計画によるKPI指標の自己評価

設定目標	計画評価指標	総合評価	判定理由
日本遺産を活用した集客・活性化	観光客入込み数 外国人観光客数	可	コロナ禍による観光需要の急減という厳しい状況を克服し、顕著な回復と成長を遂げた。観光客数は2023年に目標をほぼ達成し、2024年に達成。高尾山を訪れる外国人観光客数も、2020～2021年から急速に回復し、2025年時点で目標の9割に達しており、達成が見込まれる。さらに、日本遺産ストーリー関連施設の利用者数は2023年に目標を達成。これらの成果は、日本遺産を核とした情報発信や体験型コンテンツの充実、施設整備などの施策が効果的に機能した結果であり、地域ブランドの価値向上に寄与している。
日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	地域の文化に誇りを感じる住民の割合 日本遺産の認知度	可	市民の「八王子の魅力を積極的に友人・家族に勧めたい」という意欲は、2020年以降横ばいが続いているが、「推奨したい」と回答した層は50%を継続して越えており、地域愛着の基盤が維持されていると考えられる。また、日本遺産認定の認知度については、2023年日本遺産フェスティバルin桑都・八王子の開催以降も上昇し、2025年には期間最高値を記録した。 広域都市である八王子では、市民意識の浸透に時間を要することは想定される課題であるが、関連施設の利用増加やイベントの活性化が市民の関心を高める契機となっており、今後のさらなる向上が期待できる。
日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	日本遺産への協力団体数 歴史・文化を継承するまちづくりを応援するためのふるさと納税額	可	桑都物語の魅力発信に協力する大学・企業・事業者数は、2020年から急速に増加し、2023年には73団体と目標の3倍以上を達成。 また、ふるさと納税や寄付額については、目標には未達ながら、2020年から2024年にかけて着実な増加（約38%）。 これらの動きは、地域資源の価値を広く共有し、応援する仕組みが定着しつつあることを示唆するもの。外部連携の拡大による体制強化が顕著で、納税額も成長軌道にあることから、持続可能な体制に向けて進められている。

6-2　現行計画によるKPI指標の自己評価

設定目標	計画評価指標	総合評価	判定理由
日本遺産を活用した集客・活性化	観光客入込み数	可	集客・活性化では、コロナ禍による観光需要の急減という厳しい状況を克服し、2024年には達成、高尾山を訪れる外国人観光客数も増加し、2025年には達成が期待。日本遺産関連施設の利用者数は2023年に目標達成。 コミュニティ再生・活性化では、市民の地域推奨意欲は一定水準を維持。日本遺産認定の認知度は2025年に大幅に上昇し、情報発信強化の効果が現れ始めている。広域都市である八王子において、市民意識の浸透は容易ではないものの、基盤は安定しており、今後の戦略次第でさらなる向上が期待される。 持続可能な体制の維持・確立では、大学や企業との連携団体数が目標を超過し、2023年には73団体と目標の3倍以上を達成。また、ふるさと納税・寄付額も着実に増加し、財源基盤の強化が進んでいる。 以上の観光回復力、外部連携の拡大、財源確保の進展は、地域ブランドの強化と持続可能な発展に向けた基盤を確立している表れであると判断。
	外国人観光客数		
日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	地域の文化に誇りを感じる住民の割合		
	日本遺産の認知度		
日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	日本遺産への協力団体数		
	歴史・文化を継承するまちづくりを応援するためのふるさと納税額		

7-1　取組内容に関する自己評価

各項目	評価	評価理由
1.組織整備	可	日本遺産事業の推進に必要な組織整備を概ね達成、協議会設置や分野別部会等の基盤構築を適切に実施。また、行政から理事者や部長級が参画、組織横断的な支援体制を構築し、事業の安定性を高めた。そのほか、染織や山岳信仰などテーマ別に全国の日本遺産地域と連携、商品造成やツアー開発を推進し、広域ネットワークを形成。
2.戦略立案	可	計画的かつ長期的な戦略立案を進め、適切に実施。協議会総会や部会開催により、事業の計画的運営を確保。また、「桑都物語」をブランドとして活用する方向性を検討、体制整備を進め、地域資源の一体的な発信に寄与。さらに、文化財保存活用地域計画や滝山城跡保存活用計画への位置づけ、行政計画への組み込みを通じて、日本遺産の活用を中長期的な政策に反映。加えて、義務教育課程への導入により、郷土愛の醸成と将来人材育成を図る取組は、持続可能な地域活性化に資する。観光や認知度に関する調査を継続的に実施し、戦略策定に活用。
3.人材育成	可	日本遺産の保存・活用に資する人材育成を着実に実施。構成文化財の保存・活用に取り組む人材、日本遺産PR人材の育成、既存ガイドへの研修や中高生を対象としたガイドボランティア育成など、幅広い層を対象とした取組を実施。また、地域プレーヤーとの連携による体験イベントや関連商品の開発により、地域資源の魅力発信と経済効果の創出に寄与。
4.整備	可	日本遺産「桑都物語」のストーリーを効果的に伝えるための施設・コンテンツ整備を幅広く実施。八王子駅周辺への情報発信拠点整備や関連観光施設の開設、構成文化財所在エリアの設備充実は、来訪者の利便性向上に寄与。また、動画・音声ガイド・観光ガイドなどのデジタルコンテンツ整備（一部多言語化）や、説明板・案内板の設置により、ストーリーの理解促進を図っている。さらに、サブストーリーの発掘や食文化発信、パンフレット・公式ウェブサイト・SNS・オンラインショップの整備など、情報発信の多様化と体験価値の向上に取り組んでいる。

7-2　取組内容に関する自己評価

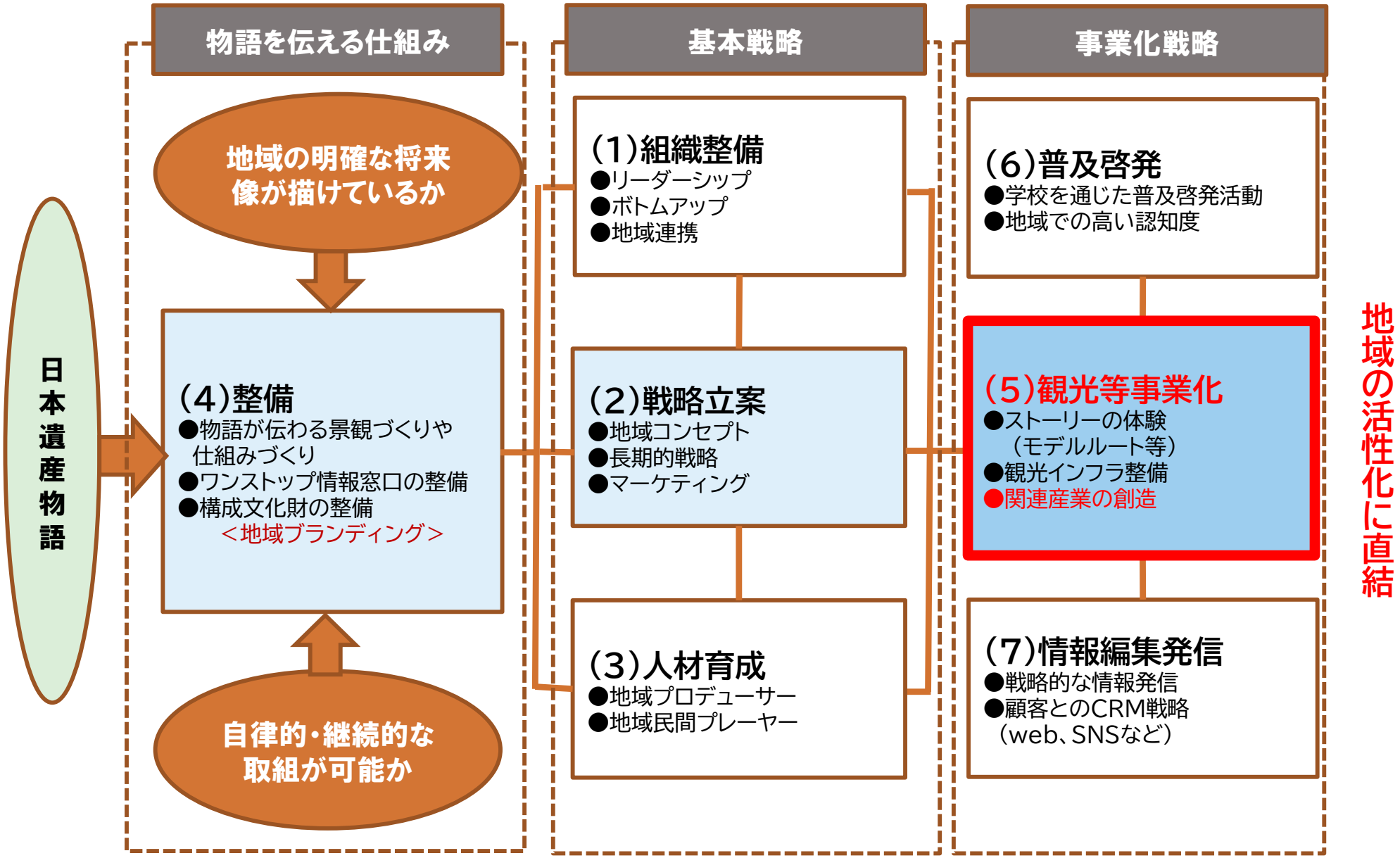
各項目	評価	評価理由
5.観光事業化	可	日本遺産「桑都物語」のストーリーを観光事業化するための体制整備と商品開発を積極的に実施。サイクリングコースや周遊コースなど、ストーリーを体験できるモデルルートを作成し、地域資源を活かした観光回遊性の向上に寄与。また、日本博2.0補助金を活用した高尾山文化観光ツアーの開発は、広域的な観光誘客に資する取組として評価。さらに、まち歩きツアーやサイクリングツアー、スタンプラリー、オープンファクトリーなど多様な体験イベントの実施により、観光コンテンツの充実が図った。加えて、八王子産テキスタイルブランドや「桑」を活用した食品、関連グッズの開発・販売は、地域産業の振興と観光消費の拡大に貢献している。
6.普及啓発	可	日本遺産「桑都物語」の認知度向上と地域への浸透を目的とした普及啓発活動を幅広く展開。市立小・中・義務教育学校における郷土学習、副読本やデジタルコンテンツの活用、構成文化財の体験、学校給食での「日本遺産メニュー」など、教育現場での取組は評価。また、市民向け講座や市職員研修、大学での講演など、幅広い層へ学習機会を提供。さらに、構成文化財の公演・実演・体験や、協議会主体のイベント、民間との連携による祭りや展示への出展、民間主導のイベント開催など、多様な主体による普及啓発活動を展開。
7.情報編集発信	可	日本遺産「桑都物語」に関する情報を継続的かつ多様な媒体で発信、顧客とのエンゲージメントを高める取組を実施。 公式ウェブサイトの多言語化リニューアルやSNSによる情報発信、オンラインショップでの関連商品の販売、動画配信など、デジタルメディアを活用した広域的な情報発信を実施。また、音声ガイドやガイドマップアプリの提供により、来訪者の利便性と体験価値を向上。さらに、行政発行紙や民間情報誌への掲載、域外での展示・PR活動など、多様なチャネルを活用した情報発信により、認知度向上とマーケティング戦略の実効性に寄与。

7-3　今後の課題・対策

項目	課　題	対策
1.組織整備	• 多様なニーズに対応可能な組織体制 • 民間活力の強化	• 協議会構成団体の拡充（プロモーション等） • 新事業創出のための民間事業者コミュニティ組成
2.戦略立案	• 強みの磨き上げと差別化戦略の明確化 • 認知度向上に加えファン造成につながる地域ブランド構築	• 本市の「強み」を活かしたテーマ設定 • 商品だけでなく担い手や物語も踏まえた地域ブランディング
3.人材育成	• 芸能関係の担い手不足 • 有償ガイド人材の育成 • 次世代人材の育成 • 中長期的な人材育成	• 継承を見据えた伝統産業の経営力向上支援 • 多言語対応ガイド人材の育成 • 学校教育での日本遺産教育の継続・強化 • 新たな価値創出ができるプロデュース人材育成、及びこども世代から大学・社会人に至る人材育成システム構築着手
4.整備	• 「はちはく」に代わるアクセス容易な日本遺産PR拠点 • 多種多様な周遊コースの整備 • 訴求力のある情報発信媒体整備	• 歴史・郷土ミュージアムでの日本遺産発信強化 • 構成文化財を活かした周遊ルートの拡充 • 「桑都物語」に関連する情報を一元的に発信するポータルサイト運営
5.観光事業化	• 持続可能な収益モデル構築 • 既存価値での販路拡大の限界	• 日本遺産に係る「強み」を活かした民間事業者の事業化支援（新商品等開発・新分野開拓支援） • 民間事業者主体の収益モデル構築・成功事例の横展開 • 異分野展開等を見据えた新たな価値創出
6.普及啓発	• 認知度・理解度のさらなる向上 • 認知度の世代差是正	• 歴史文化への関心が低い層に対して他の興味分野を入口にして日本遺産への関心を高める「入口戦略」による普及啓発 • 世代毎の違いを踏まえたプロモーションの実施（アニメコンテンツとの連携等）
7.情報編集発信	• 多様なニーズに対応した情報発信強化 • 切れ目のない有用な情報発信	• 「入口戦略」に基づく多様な切り口による情報発信（アニメコラボ、ヘルスケア等） • デジタルを活用した多様なニーズに即した情報発信

審議内容
（次期地域活性化計画）

8-1　日本遺産事業の推進において重視される項目



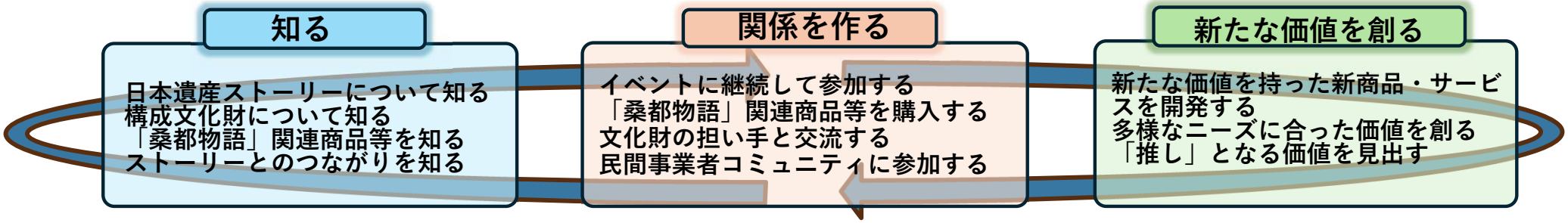
《参考》日本遺産物語をどう活かすか（令和7年2月18日 丁野 朗氏）講演資料より

8-2 次期計画の取組

項目	事 業	取 組
1.組織整備	地域活性化に向けた組織整備事業	• 日本遺産「桑都物語」推進協議会の開催 • 民間事業者コミュニティの形成 • 協議会と民間事業者コミュニティの連携促進
2.戦略立案	日本遺産推進のための戦略立案事業	• 「入口戦略」による日本遺産の普及啓発・情報発信 • 観光MICEを絡めた文化観光推進拠点整備に向けた戦略策定 • 文化財保存活用地域計画の中間評価見直し
	民間事業者による日本遺産の活用促進及び普及啓発事業	• 民間事業者を通じた普及啓発・情報発信 • 民間事業者による日本遺産活用事業の創出促進 • 民間事業者・協議会の連携による普及啓発・情報発信
3.人材育成	地域の歴史文化・産業を支える「桑都物語」人材の育成事業	• 多言語対応ガイド人材の育成 • 多言語対応ガイド人材と中小企業とのマッチング促進 • 「桑都物語」サポーターの育成
	次世代人材を対象とした理解定着・キャリア形成支援事業	• 小中学生向け日本遺産の理解・定着促進 • 中高生ガイドボランティア育成事業の実施 • キャリア形成に資する高校生、大学生向けの人材育成事業の実施
4.整備	「桑都物語」の魅力発信と保存環境整備事業	• 桑都の杜（歴史・郷土ミュージアム）の整備・運営 • 構成文化財及び関連施設等におけるさらなる魅力発信環境の整備 • 日本遺産「桑都物語」周遊ルートの整備・拡充 • 構成文化財・市指定文化財の修繕補助
5.観光事業化	「桑都物語」を活用したイノベーション創出事業	• 織物産業ブランド化・高付加価値化推進 • 桑都ヘルスケア・食体験コンテンツ開発 • 伝統芸能とものづくり・デジタル技術の融合 • 日本遺産「桑都物語」収益モデル構築
6.普及啓発	「桑都物語」の魅力発信・普及啓発事業	• 桑都の杜（歴史・郷土ミュージアム）を起点とした日本遺産普及啓発 • 多様なテーマを入口とした日本遺産ストーリーの普及啓発 • 構成文化財を対象とした短編動画作成・公開 • 日本遺産「桑都物語」検定（仮称）の制作・展開
7.情報編集発信	桑都物語」情報発信・編集強化事業	• ポータルサイト・SNSの運用、情報発信 • デジタルマップを活用した多様な情報発信 • 日本遺産イベントを活用した情報発信

8-3 次期計画のビジョン

- 各事業の実施にあたっては、日本遺産ストーリー等を「知る」、日本遺産ストーリー等をもとに「関係を作る」、「新たな価値を創る」に分類し目的を明確化するとともに、3項目を循環させ、持続可能性を高める。



- 取組を進めるにあたり、地域住民、民間事業者、来訪者それぞれの理解、来訪・周遊等への行動変容、産業活動への昇華が必要であることから、3者の将来の姿を以下の通り設定。

関係者	地域住民	来訪者	民間事業者
目指す将来の姿	◆ ストーリーの理解や歴史背景、担い手の思いへの共感をもとに、ファンとして継続的にイベント参加や商品購入を行い、歴史文化を支える ◆ 「桑都物語」や文化財、歴史文化を認識、深く理解 ◆ 学んだ物語を生涯のアイデンティティとして継承 ◆ 「桑都物語」に関連する伝統文化や伝統産業、観光業をキャリア選択肢として認識 ◆ ガイドボランティアや「桑都物語」関連プロジェクトに参画 ◆ SNSや動画で魅力を国内外に発信 ◆ 海外来訪者との交流で国際感覚を育む	◆ 「桑都物語」に関連するイベント参加や商品購入等を通じ、ストーリーや歴史背景、担い手の思いへの共感をもとに、継続的なファンとなる ◆ 「桑都物語」や文化財を理解し体験で魅力を感じる ◆ デジタルや現地案内で歴史文化を学び共感する ◆ 多言語情報を活用し国際交流を楽しむ ◆ SNSや動画で魅力を発信し情報拡散に協力	◆ 「桑・織物」をはじめとするストーリーや文化財を活用した新事業で収益モデルを確立している ◆ 「桑都物語」や文化財を理解し事業に活用 ◆ 民間事業者コミュニティでの共創により新商品・サービス創出 ◆ 海外展開や販路拡大で魅力を発信 ◆ 海外展開人材を育成・活用し「桑都物語」PRと企業活動を両立 ◆ 文化観光・産業観光による観光資源化

8-4　次期地域活性化計画のポイント

【将来像】

歴史文化を核に、地域経済と文化継承が両立する「持続可能なまち」
～「桑都物語」を軸とした新しい価値創造と地域イノベーション～

日本遺産推進事業の自立・自走を促進するため、「地域の活性化」に資する取組を強化、革新的な取組を展開

1. 本市の歴史文化及び「特徴・強み」を活かした、民間事業者主体の「新たな価値づくり」を推進
   （1）高品質な繊維製品の強みを活かした「桑都物語」ブランド構築
   （2）桑の効能や繭成分に着目した新分野展開（機能性食品、美容製品）

2. 「桑都物語」の各種事業に関わる人材の育成に向けた、産学官による人材育成システム構築に着手
   （1）インバウンド需要に対応できる多言語対応人材の育成
   （2）桑都物語に関わる新製品・サービスを創造できるプロデュース人材

8-5 「新たな価値づくり」について

新たな価値による開拓

確立した価値による拡大

芸能	伝統産業	食・健康
「強み×機会」	「強み×機会」	「強み×機会」
• 芸能とテクノロジー(ものづくり、デジタル技術)との融合等による新たな価値創出 • 本市芸能文化の「海外にも通じる価値付け」(参考:APEC SMEWG) • 担い手に光を当てた「**文化観光**」メニュー造成	• 高品質を強みとする「桑都物語」繊維ブランドの構築 • 独自基準による高品質の「強み化」「差別化」(東京都立産業技術センターとの連携) • 技術や職人、歴史に脚光を当てた「**産業観光**」メニュー造成	• 桑が持つ効能や繭成分が持つ性質・機能の付加価値向上及び新分野展開 • 世界共通の社会課題(糖尿病予防等)解決も併せた日本遺産「桑都物語」事業の展開(例:桑葉の活用) • ガストロノミーへの食材料提供を通じた「**食文化観光**」の展開
• 歴史・郷土ミュージアム等の拠点施設を通じた見学・体験による理解促進 • 上のまつり・下のまつり(八王子まつり)等イベント体験を通じた関心の喚起 • 学校教育を通じた理解定着促進	• 歴史・郷土ミュージアム、織物工芸館等の施設を通じた繊維産業の歴史、「多摩織」等の理解促進 • オープンファクトリー等による技術体験を通じた理解促進	• 学校給食等を通じた日本遺産「桑都物語」の理解促進 • 食文化ミュージアム(道の駅八王子滝山)による本市食文化の理解促進 • 日本酒製造を通じた日本遺産周知促進
車人形、獅子舞、八王子芸妓、木遣上の祭り・下の祭り　等	多摩織、繊維産業その他関連製造業	桑都の銘酒、桑関連その他関連製造業

8-6 「人材育成システム」について

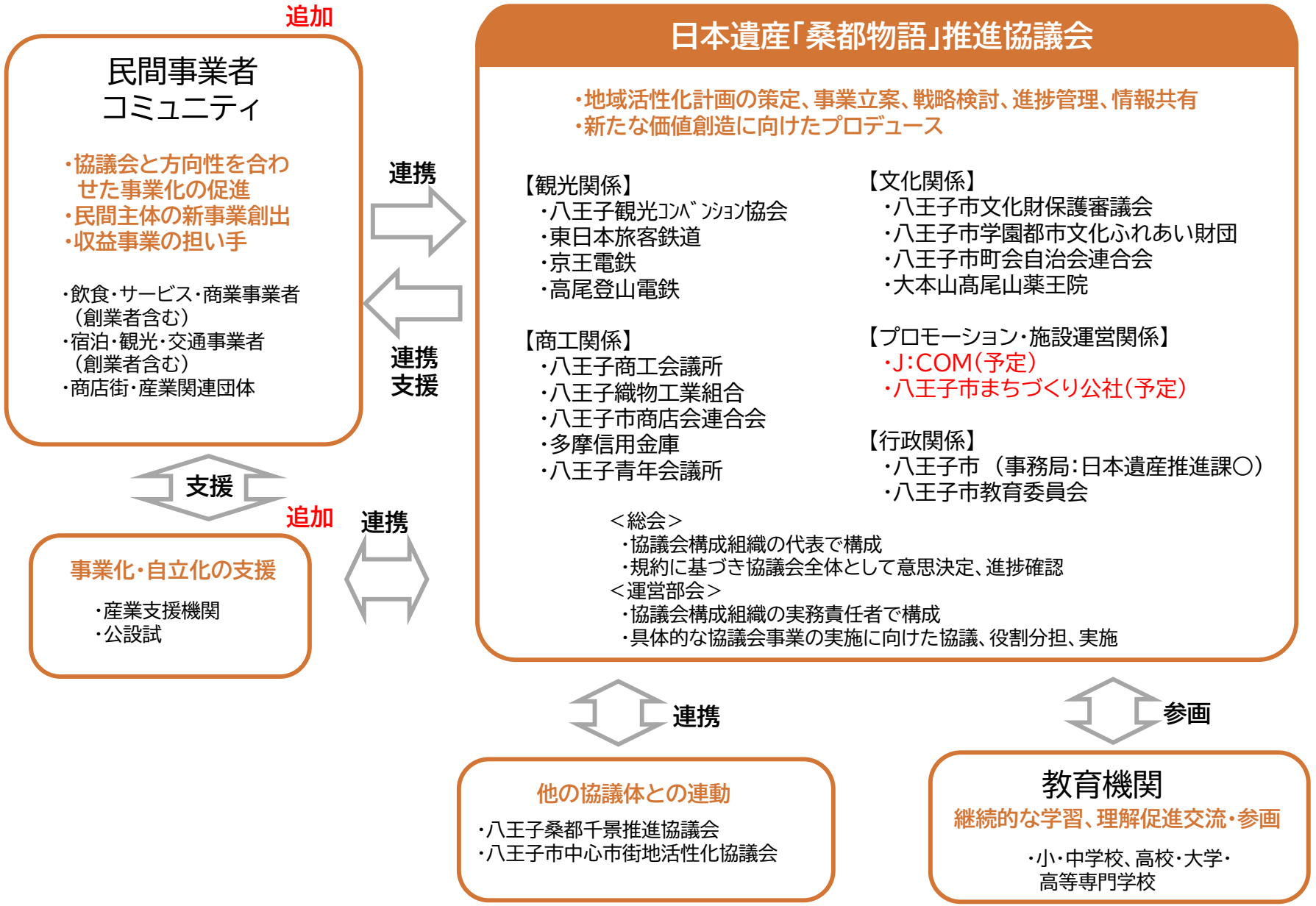
- インバウンド需要に対応できる多言語対応ガイド人材に加え、桑都物語に関わる新製品・サービスを創造できるプロデュース人材まで含めた人材育成システムについて、産学官による連携により構築を目指す。（下記人材像は参考として計画に掲載）
- 本計画期間では現状分析、課題抽出、方向性の決定を行う。

小中学生	高校生	大学生	ガイド人材	海外展開人材	プロデュース人材
• 構成文化財やその担い手、ガイド人材による出前講座や体験授業等を通じた「桑都物語」に関する興味・関心の喚起 • 学校教育やイベント・行事への参加を通じた「桑都物語」に関する基礎知識の取得・定着 • （中学生）ガイド人材や担い手との交流による、将来のキャリア像の形成	• 「桑都物語」や構成文化財に関する興味・関心の喚起 • 自らのキャリア形成につながる、ガイド人材や構成文化財の担い手との交流・指導（中高生向けガイドボランティア事業等） • 「桑都物語」認知度向上に資する実現可能な政策の提案	• 「桑都物語」や構成文化財に関する興味・関心の喚起 • 自らのキャリアに直結するインターンシップ等への参加（多言語対応ガイド事業者、「桑都物語」関連商品開発事業者、海外プロモーション参画事業者等） • 「桑都物語」認知度向上に資する実現可能な政策の提案、実証事業の実施	• 「文化観光」・「産業観光」及び「食文化観光」など多様なメニュー造成・提供、ガイドとしての関与 • 国際会議・学会や企業研修における多言語対応ガイド（地域通訳案内士等）としての活躍 • 中高生向けガイドボランティア事業やインターンシップへの協力を通じたガイディング技術教授、及び将来のキャリア像としての参画 • 若年層の「将来の自分」形成のモデルとして活動	• 中小企業に所属し、海外事業に携わりながら、地域からの要請に応じてガイド活動を行うハイブリッド人材 • 英会話・コミュニケーション・ビジネススキルに加え、デジタル発信スキルを活用し、海外市場で自社及び「桑都物語」をPR • ガイド人材の発展形として、観光とビジネスを融合した新しいキャリアモデルを提示 • 若年層に「地域と世界をつなぐ自分」という将来像を示す活動	• 地域資源を活用した観光・文化・産業の統合プロジェクトを企画・運営 • 国内外のネットワークを活かし、「桑都物語」ブランド戦略を企画・調整・推進 • デジタルマーケティングや海外プロモーションを統括 • 次世代人材育成の仕組みを設計し、持続可能な地域振興を協議会構成員とともに推進
興味喚起	**キャリア意識**	**実践・政策提案**	**地域・専門的活動**	**グローバル活動**	**価値創造**

8-7 次期地域活性化計画でのKPI指標設定

設定目標(既定)	計画評価指標(独自指標)	新規 継続	現状値 (R7)	目標値 (R10)
地域住民や国内外からの来訪者が日本遺産のストーリーに触れ、その魅力を体験すること	日本遺産ストーリー関連施設の利用者数	継続	72.3万人 ※推計値	78.5万人
	高尾山を訪れる外国人観光客数	継続	13.1万人 ※推計値	19.1万人
	ポータルサイトのページビュー数	新規	58,000pv ※推定値	66,150pv
地域において日本遺産のストーリーが誇りに思われること	日本遺産に関する市民認知度	継続	66.4% ※2月公表予定	70%
	地域の文化に誇りを感じる住民の割合	継続	47.3ポイント	50ポイント
日本遺産を活用した事業により、経済効果が生じること	日本遺産に関連する商品・サービスの売上高	新規	125万円 ※推計値	400万円
日本遺産のストーリー・構成文化財の持続的な保存・活用が行われること	日本遺産及び文化財の保存・活用に関する寄附額	継続	1,850万円 ※推計値	2,150万円
地域への経済効果も含め広く波及効果が生じること	地域への観光客入込み数	継続	946.2万人 ※推計値	1,100万人
	日本遺産をテーマとした連携プロジェクト延べ件数	新規	4件	10件

8-8 実施体制【全体】


追加
民間事業者
コミュニティ
・協議会と方向性を合わせた事業化の促進
・民間主体の新事業創出
・収益事業の担い手
・飲食・サービス・商業事業者（創業者含む）
・宿泊・観光・交通事業者（創業者含む）
・商店街・産業関連団体
連携
連携
支援
支援
追加
連携
事業化・自立化の支援
・産業支援機関
・公設試
日本遺産「桑都物語」推進協議会
・地域活性化計画の策定、事業立案、戦略検討、進捗管理、情報共有
・新たな価値創造に向けたプロデュース
【観光関係】
・八王子観光ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝ協会
・東日本旅客鉄道
・京王電鉄
・高尾登山電鉄
【商工関係】
・八王子商工会議所
・八王子織物工業組合
・八王子市商店会連合会
・多摩信用金庫
・八王子青年会議所
【文化関係】
・八王子市文化財保護審議会
・八王子市学園都市文化ふれあい財団
・八王子市町会自治会連合会
・大本山高尾山薬王院
【プロモーション・施設運営関係】
・J:COM（予定）
・八王子市まちづくり公社（予定）
【行政関係】
・八王子市 （事務局：日本遺産推進課〇）
・八王子市教育委員会
＜総会＞
・協議会構成組織の代表で構成
・規約に基づき協議会全体として意思決定、進捗確認
＜運営部会＞
・協議会構成組織の実務責任者で構成
・具体的な協議会事業の実施に向けた協議、役割分担、実施
連携
他の協議体との連動
・八王子桑都千景推進協議会
・八王子市中心市街地活性化協議会
参画
教育機関
継続的な学習、理解促進交流・参画
・小・中学校、高校・大学・高等専門学校

8-9 実施体制【運用部会】

運営部会名	構成団体		役割分担
	構成委員	行政	
総括・広報・普及啓発部会	八王子商工会議所 八王子観光コンベンション協会 J:COM(予定)	八王子市 日本遺産推進課 観光課 八王子市教育委員会 文化財課	プロデュース機能 部会間の調整 イベント連携による普及啓発 デジタル広報戦略
文化財・教育・人材育成部会	八王子観光コンベンション協会 八王子市学園都市文化ふれあい財団 八王子市文化財保護審議会 八王子市町会自治会連合会 大本山髙尾山薬王院 八王子青年会議所	八王子市 日本遺産推進課 学園都市文化課 八王子市教育委員会 教育指導課 文化財課	文化財の調査・研究及び活用可能性検討 教育機関との連絡調整 ガイド人材の育成・活動支援 人材育成システムの研究
観光・物産部会	八王子商工会議所 八王子観光コンベンション協会 八王子織物工業組合 京王電鉄 東日本旅客鉄道 大本山髙尾山薬王院 高尾登山鉄道 多摩信用金庫 八王子市まちづくり公社(予定) 八王子青年会議所	八王子市 日本遺産推進課 産業振興推進課 観光課 学園都市文化課 八王子市教育委員会 文化財課	新商品・製品開発・PR支援 産学連携促進・支援 文化観光・産業観光・食文化観光研究

※リーダーは各部会で決定する。

参考

今後のスケジュール

文化庁継続認定申請	令和8年2月下旬～3月上旬
有識者委員会による審査	令和8年3月～
有識者委員会による現地調査	令和8年5月頃
審査結果公表	令和8年7月末